

8

お腹が痛いとき

観察のポイント

- お腹を抱えこむように痛がらないか、痛がり方、時間、部位を観察してください。
- 発熱、吐き気、下痢、激しい泣き方など他の症状があるか、よく観察してください。
- お腹が張っていないか、全体的にさわってみましょう。一定の部位に痛みを訴えるかどうかみてください。



こんな時はどうするの？

しばらく様子を見ましょう

(診療時間中にお医者さんへ)

- すぐに軽くなって我慢できる痛みになった
- 排便により痛みが止まって全身状態がよい

すぐお医者さんへ

- お腹をかがめて痛がる
- 排便すると血液が混じっている
- 下痢、嘔吐をともなっている
- ぐったりして泣いてばかりいる
- お腹をさわると痛がる



家庭でできること

- 排便で痛みが止まることもありますので、トイレへ行かせてみましょう。
- 簡単に痛みが止まるようなら、少し水分を飲ませてください。
吐き気やお腹の痛みがあるときは柑橘系の飲み物、牛乳類は飲ませないでください。
- お腹に炎症があるとき（虫垂炎、胃腸炎など）には炎症を悪化させるので、カイロなどではお腹を暖めないようにしましょう。



なんでも医療相談

Q & A

Q お腹を痛がる時はどうしたらよいですか？

A お腹をさわってみましょう。左上から下の方を痛がる時は、便秘の場合もあります。発熱、吐き気、激しい泣き方など他の症状があるか観察してください。

Q 子どもがよくお腹を痛がることがあります、心配ないですか？

A 子どもはお腹を痛がることしばしばあります。便秘がちの子どもは、排便の前にお腹が痛いと言ったりします。朝になると腹痛を訴える子どもや急にお腹を痛がったかと思えば、元気に遊んでいることもよく見られます。頻繁に腹痛を訴える場合は、受診をおすすめします。

Q 3~4日排便がなく、お腹を痛がります。自宅で浣腸してもよいですか？

A 市販の浣腸で年齢相当の量なら差し支えありません。排便を必ず観察しましょう。腹痛が止まらないときや便の状態がいつもと違うとき（血便など）は、便を持参して受診してください。
普通便で腹痛も治まれば、自宅で様子を見ても大丈夫でしょう。